

## T-Hawkによる原子炉建屋開口部のダストサンプリングの結果について

### 1号機原子炉建屋

#### 作業実績

飛行日時 平成23年7月24日 4:28~5:57  
作業体制 当社1名、協力企業 10名  
被ばく線量 最大0.47mSv、最小0.18mSv

#### 測定環境

<サンプリングポイント：（目測）>

原子炉建屋 東側（外壁から外側に5m程度）  
原子炉建屋 鉄骨上部から10m程度上空

<天候>

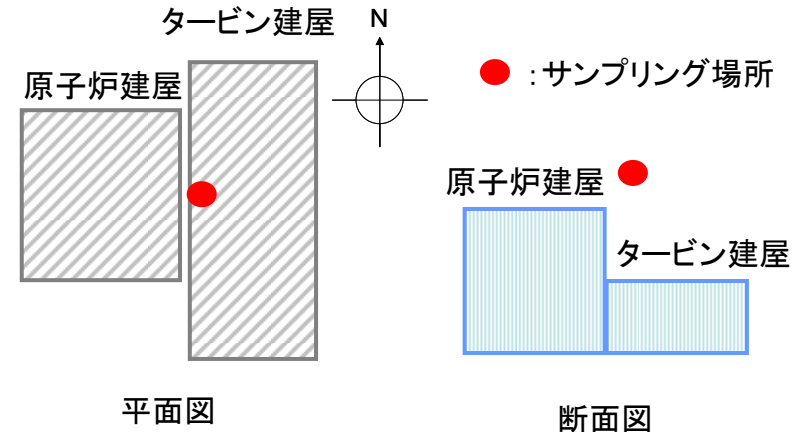
曇り

<風向・風速>

場所：T-Hawk操作場所（1，2号機超高压開閉所前）  
7/24 4:15 西風 2.2m/s  
4:56 西風 1.3m/s  
5:26 西風 1.3m/s

#### 測定結果

I-131	N.D	揮発性： $<2.7 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$
		粒子状： $<1.7 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$
Cs-134	N.D	揮発性： $<7.5 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$
		粒子状： $<4.5 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$
Cs-137	N.D	揮発性： $<8.0 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$
		粒子状： $<4.8 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$



## T-Hawkによる原子炉建屋開口部のダストサンプリングの結果について

### 2号機原子炉建屋

#### 作業実績

飛行日時 平成23年7月22日 5:06~6:02  
作業体制 当社1名、協力企業 10名  
被ばく線量 最大0.38mSv、最小0.21mSv

#### 測定環境

<サンプリングポイント：（目測）>  
原子炉建屋 東側（ブローアウトパルから外側に5m程度）  
原子炉建屋 屋根上部から10m程度上空

#### <天候>

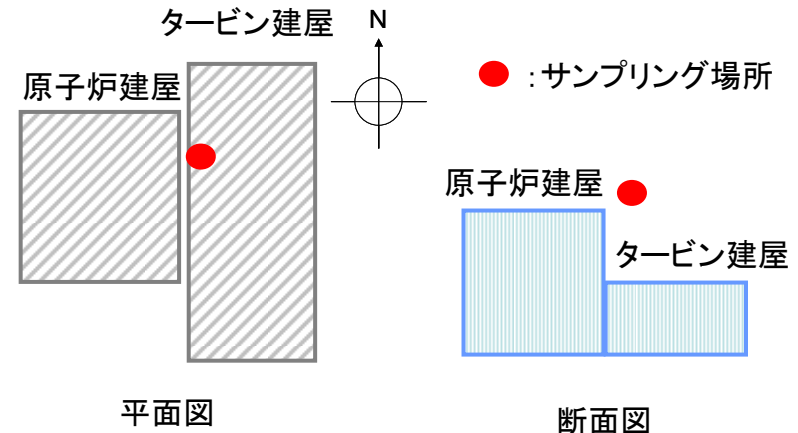
曇り

#### <風向・風速>

場所：T-Hawk操作場所（1，2号機超高压開閉所前）  
7/22 4:50 西風 3.3m/s

#### 測定結果

I-131	N.D	揮発性： $<5.9 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$ 粒子状： $<3.7 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$
Cs-134	$2.2 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$	
Cs-137	$2.7 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$	



訂正版

※7月25日公表時には「東側」と記載しておりましたが、正しくは「西側」となります。  
訂正してお詫び申し上げます。

平成23年7月25日  
東京電力株式会社

## T-Hawkによる原子炉建屋開口部のダストサンプリングの結果について

### 3号機原子炉建屋

#### 作業実績

飛行日時 平成23年7月23日 4:37~6:08  
作業体制 当社1名、協力企業 10名  
被ばく線量 最大0.46mSv、最小0.24mSv

#### 測定環境

##### <サンプリングポイント（目測）>

原子炉建屋 西側※（外壁から外側に5m程度）  
原子炉建屋 鉄骨上部から10m程度上空

##### <天候>

曇り、一時雨

##### <風向・風速>

場所：T-Hawk操作場所（1，2号機超高压開閉所前）

7/23	4:30	東風	0.8m/s
	5:03	西風	1.1m/s
	5:40	南西風	1.7m/s

#### 測定結果

I-131	N.D	揮発性	: $<2.4 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$
		粒子状	: $<1.5 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$
Cs-134	N.D	揮発性	: $<6.9 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$
		粒子状	: $<4.5 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$
Cs-137	N.D	揮発性	: $<7.5 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$
		粒子状	: $<4.6 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$

